

み ち し る ベ

主題聖句

あなたの道を主にまかせよ。／信頼せよ、主は計らい
あなたの正しさを光のように／あなたのための裁きを
真昼の光のように輝かせてください。

詩編 37 編 5～6 節

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会
第 20 期 104 号

発行者 平山美保
編集者 岡田レツ
印刷 平山印刷出版

主題「主と共に歩む」

ことば

わたしが説教の中で心がけてい
ることが一つあります。それは、な
るべく熟語を使わない、というこ
とです。

30年以上前のことです。宣教研
修をした教会に国語の教師がおら
れました。その方は「そんなこと
言つたかな？」と言われるので
すが、漢語（漢字の熟語）ではなく
く大和言葉（和語、ひらがな言葉）
で話した方がよい、その方が自然
だ、という助言をしてくださった
からです。

言葉というものは、とても不思
議なものだと思います。「言霊（こ
とだま）」という力が言葉にはあ
る、と言われています。何気ない
常套語として使われているのだ
と思うのですが、「誠実に…」、「真
摯に…」、「肅々…」等々の言葉を

聞くとき、言葉が上滑りしている
ようで、心（気持ち）が入ってい
ないよう聞こえるのはわたしだ
けでしょうか。

山上の説教（マタイ5～6章）
にも言葉について語られていま
す。もう一度、この個所を読みな
おしてみたいと思うのです。

言葉が大きな影響を与えるとい
うことは最近のニュースなどを聞く
時、それを強く感じるのです。何
気ない一言が気持ちを軽くしてく
れたり、反対に深く傷つけたりす
ることでしよう。また、その人の人
格を疑つてしまふような言葉も耳
にすることがあります。だから、
慎重に言葉を選ばなければならな
いのだと思うのです。

言葉として使われているのだ
と思うのですが、「誠実に…」、「真
摯に…」、「肅々…」等々の言葉を
繰り返し使われていくと言霊の力が
マイナスに働いていっているので
はと心配になってしまいます。

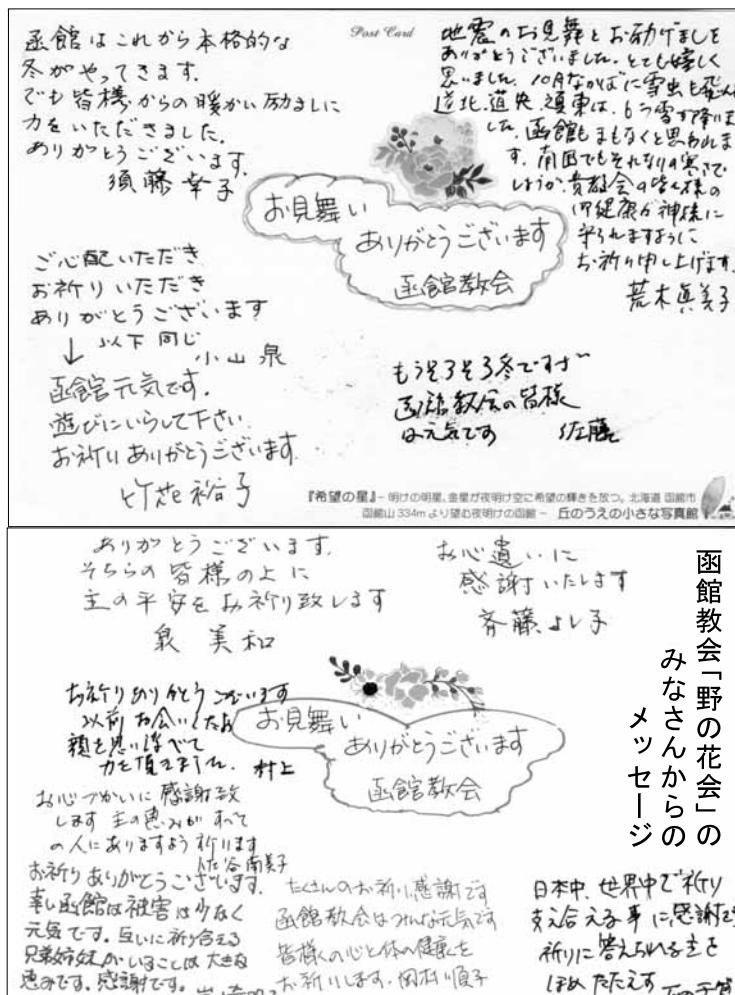


牧師
中村朝美
宮崎教会



函館教会女性会「野の花会」から

九州教区女性会の皆さまへ



わたしたちの祈りを主が運んでくださいました。小泉牧師が「祈りがかたちとなつたのが、よかつたのかもしれませんね」と仰つてくださいました。意図を汲んで協力してくださいました。

災害は起きない方がいいに決まっています。それでも起

主の御名を讃美します。
待降節です。キリストの「到来」を待っています。主がお一人ひとりに、そして

わたしたちと共にいてくださいることを感謝します。
9月29日に教区女性会会長会を開催し、皆さんにサイン

第20期九州教区女性会会長 平山 美保



祈り合う確信に励まされ

とメッセージをお願いして、その翌週発送しました。10月になり、西教区各地の女性たちから連日のようにはガキを受け取りました。札幌教会と函館教会からもメッセージカードをいただきています。

驚きやありがとうございます。こみ上げてくるものを感じました。人の思いを超えた主のお計らいの不思議さに身を低くする思いであります。



きてしまうことはある。わたしたちは平時にどう生きて、信頼を紡いでいくのか問われていると思います。新しい年も支え合い、励まし合いながら、歩んでいきたいです。

11月、役員研修会に参加しました。課題は多いですが、共有してくださる方々がおられることに励まされました。

主の愛に生きる

水俣教会 池嶋 春恵

主よ、あなたのみ言葉はわたしの道の光です。

主われを愛す 主は強ければ我弱くとも 恐れはあらじ

水俣教会女性会



全聖徒主日を前にして

今朝も主の愛に感謝して朝の目覚めを迎えます。

主なる神さま、あなたのみ言葉が述べ伝えられ、あなたのみ業がこの地に現れたように、今ここにわたしたちの教会があることを感謝します。

主よ あなたのみ言葉は
わたしたちの足のともしび
わたしたちの道の光です。

我が罪のため、榮を捨てて、
天より下り 十字架につけり
御國の門を開きて我を 招き
たまえり いさみて昇らん

聖書はわたしたちの人生を
導いてくださいます。わたし
たちが今日まで生きてきた道、
これから歩みの上にも愛す

老いてなお、これからも日々
の生活に感謝しつつ、祈りつ
つ、毎日の歩みを続けていき
たいと思うものです。
主の愛はとこしえに。

わたくしが共に集い、礼
拝に参加して女性会の交わり

恵みを



20期活動目標四つの柱 2

「高齢の会員と共に

恵みを分かち合う」

納骨堂をきれいに整える



のなかで各地にある姉妹たちとのつながりで、日々の恵みにいることを感謝します。

怪我のため、参加できませんでしたけど、会長会の様子を伺い知ることができてうれしく思いました。

鶴姉妹たちのレインボーハウスの働きなど、正に思いを超える主の恵みと、その働きに感謝の念が湧いてきました。

主はいつもわたしたちを愛してくださいます。この世にあるかぎり、生きているものが、もはや自分自身のためだけでなく、復活された方のために生きるためです。

主はいつもわたしたちを愛してくださいます。この世にあるかぎり、生きているものが、もはや自分自身のためだけでなく、復活された方のために生きるためです。

老いてなお、これからも日々の生活に感謝しつつ、祈りつつ、毎日の歩みを続けていきたいと思うものです。

紹介

いつもの、わたしたちの

活動

箱崎教会

わたしたちの箱崎教会女性会は、会報による聖書の学び、会堂そうじ、食事の準備（月2回）等の働きをしています。



また、隣りには附属の恵泉幼稚園があります。ウィークデイには、幼稚園のお母さん方が教会堂を利用し、お菓子を作ったり、子育ての学び、聖書の学びなどのサークル活動を熱心にされています。

園では、2ヶ月に一度子どもたちの誕生会が開かれます。そのときの園からのプレゼントは、手作りのコップ袋、ナップキン、はし袋です。そのプレゼント製作を女性会のミシンをもつた一部の会員が引き受けています。縫い上げた作品は園に買っていただき、その

製作費は材料費を差し引いて、女性会の活動費となっています。

幼稚園のお母さま方とこれといった交流はありませんが、教会でお会いしたときは、あいさつをしたり、ちょっとお話をしたりします。11月のバザーは幼稚園と合同でこのときも一緒に楽しく賑やかにすごします。お子さんの卒園後も、教会学校や聖書の学びOG会などでつながってくださる方もおられます。この誕生会プレゼント製作は長年続けられている活動です。

<写真は11月3日のバザー>

(山本裕子)



わたしたちは、毎月第2日曜日の礼拝後に例会をします。連盟会報にそって聖書研究、牧師の奨励と祈り。牧師も例会には毎回出席してくださいます。

神水教会

主な活動は、慈愛園乳児ホームのベッドに敷く「おねしょパッド」(70cm×70cm)、「お遊びマット」(80cm×80cm)を毎月の仕事会で作ります。



特に大きい活動は、リサイクル「チャリティセール」(主に衣類)。これは冬(2月第2週の土曜から月曜)と夏(7月第1週の土曜から月曜)の年2回、それぞれ3日間開催します。準備の金曜日を含むと会員は4日間頑張ります。セールの品物はすべて、会員や会員の友人・知人、そのまた友人・知人、地域の方々からの献品です。ご本人には不用品でも、すべてが宝の山です。常連の来場者も多く、初日の開店前には行列ができます。皆さん、毎回ピッタリの物を見つけて喜んでくださっています。

セールの益金は慈愛園の5つの施設や喜望の家、ブラジルサンパウロ教会支援などにも役立てています。地域の方々や他教会の方々と楽しい交わりのうちに開催できて、主に感謝しています。



9月からは教会「よかバイバザー」(11月3日)に向けての作品作りに精を出します。また、年に数回パウラスホーム問安や教会行事の奉仕をさせていただいており、1年はあっという間です。

主が共にいてくださることが、わたしたちの喜びです。
(岡田レツ)

<写真は2月のチャリティセール>



筑後地区の平和礼拝

田主丸教会 長澤キクヨ

自由に語り合つたりしてきました。

*

今年は、わたしが以前お世話になつた佐伯キリスト教会

連日猛暑が続いている教会のなかでは、5台の扇風機がフル回転していました。総勢32名で8月18日、平和礼拝が行われました。

宮川牧師の説教では「違うと知る」、すべて違うことを理解し、差別をなくし共に生きていくことを学びました。

8月に平和礼拝を守るといふことで、当初は戦後、悲惨な戦争を体験された姉妹たちが、平和の尊さを伝えながら、また今日に至るまでどのようにして過ごしてきたかを証ししてきました。

時代とともに天に召された方も多くなり、平和礼拝も変化してきました。その後、講演、遺跡めぐり、勉強会と行いました。数年前からは参加者全員で3分間メッセージを

30数年以上前から、久留米、大牟田、日田、甘木、田主丸の5教会が、主の召しに従い、喜びも苦難も分かち合ひ、共に歩いていく信仰の絆をむすぶ群れとなりました。

*

20期活動目標四つの柱 4
「平和の問題に
目を向けよう」

井上牧師



30数年以上前から、久留米、大牟田、日田、甘木、田主丸の5教会が、主の召しに従い、喜びも苦難も分かち合ひ、共に歩いていく信仰の絆をむすぶ群れとなりました。

ら熱心に、時にはユーモアを挟み語られました。特に子どもたちへの信仰の継承には牧師として母親の立場から話されたことは印象的でした。

井上牧師の姿から神さまへの絶対的な信頼、み言葉の確信、真剣に祈り続ける大切さ、ゆるぎない信仰を感じ取一わたしが救わされてイエスさまの召しにあずかるまで二主がわたしに託してくださいました二つの教会をどのようにしてたちあげたか

三体の弱かつたわたしに7人の子を授かり、主がどんなことをしてくださったか



わたしにとつて教会は

小さな刺激

八幡教会 小林 涼子



出不精で面倒くさがりのわたしが日曜日の朝に教会に足を運んでいることは、不思議なことなのかもしれません。

今回「みちしるべ」

に文章を書く機会を与えられ、なぜ教会

に足が向くのかをあらためて考えてみたところ、教会はわた

しにとつて「刺激を受ける場所」なので

はないか、と思うよう

になりました。

年齢や性別、職業

も考え方も違う人た



い、各家庭での出来事や昨日のＩＴ事情

まで、話題は

尽きることがあります。

こうした会話

のひとつひとつがわたしに

刺激を与え、思考する時の

養分として蓄えられ、自分

を豊かにして

います。

それらは決して大きな刺激ではありませんが、教会で受けける数々の小さな刺激は、時折わたしの心の中でフタとなつて邪魔をする「出不精」と「面倒くさい」を忘れさせ、人や物を知る楽しさや面白さを再認識させていくようです。

お風呂の中で体に現れる小さな気泡に似たそんな小さな



11月23日のバザー



刺激を受けたくて、わたしは日曜日の朝、教会に足を運んでいます。

教区中高生キャンプ

夏キャンに参加して

大江教会 椎葉ちはる

今年も中高生キャンプに参加できましたことに感謝します。

わたしは今回の夏キャンで災害時の子どものための心理的応急処置についてより興味を持つことができました。

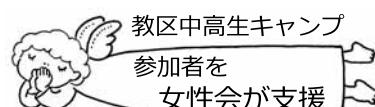
次に災害が起きた時に夏キャンで学んだことを少しでも実践していくと思いました。また、阿蘇大橋や、阿蘇山荘などを間近で見ました。前行っていた川や、恒例だった肝試しもできて良かったです。参加させていただき、ありがとうございました。(高校1年)



主の慈しみに生きる人よ
阿蘇の山に帰ろう

今回は、災害時の子どものケアのために中高生の活躍の場があることを教えられました。また、震災を振り返り、被災地を巡り、祈りました。

教区女性会のお支えがあり、今年もキャンプを行うことができましたこと感謝申し上げます。
牧師 関 満能



ルーテルこどもキャンプ

いのち・大切

室園教会 船崎七海

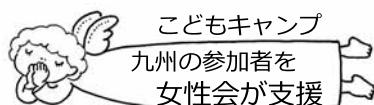
わたしは8月7日～9日まで「来んさいヒロシマ peace じゃけん」に行きました。広島に行くのは3回目だけど1人で行くのは初めてでした。

わたしはハイクに行くのが楽しみでした。広島では同じ様に集まった人たちと自己紹介をしたりしました。みんなで夜おん泉に行ってみんなを待っていた時に本当にげんばくにあったおじいちゃんに話を聞きました。その人は家で遊んでいた時にひばくしたそうです。

し料館では、とけたガラスや8時15分で止まった時計など見ました。袋町小学校には人を探したりした時の字が残っていました。

わたしが心に残ったのは、最後のかく実験から339日とまだ1年もたっていないということです。このようにたくさんの命が失われるることはぜつたいにしてはいけないと思いました。

(小学5年)



8月7～9日、広島教会を会場にしたキャンプに九州教区から2名の5、6年生が参加しました。全国の仲間と共に過ごしながら、原爆が投下された広島で一人ひとりが平和を考える貴重なキャンプとなりました。

牧師 池谷考史



乙守アヤ子姉（宮崎）
渕崎ヨシエ姉（水俣）
お二人の姉妹が会計監査を受けてくださいました。感謝いたします。
任期中、毎年1回（1月予定）に、会計監査をさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

会計監査 決まりました

歩みと予定

10月9日（火）
後期会費納入お願いを発送
平山、寺本、岩崎 大江教会

11月8日（木）～9日（金）
連盟役員合同研修会
平山、寺本、岩崎、岡田、江崎
ナザレ修女会エピファニー館

11月20（火）後期会費期限日

11月26（月）
後期会費納入状況確認
平山、岩崎、江崎 大江教会

11月27日（火）連盟に送金

11月27日（火）教区常議員会

12月13日（木）
みちしるべ104号発送 健軍教会

12月13日（木）第6回役員会

2019年

1月21日（月）会計監査
大江教会

1月22日（火）教区常議員会

轟木ミチエ姉 102歳（宮崎）
2018年9月10日

これまでのお交わりを感謝します。
ご家族のみなさまのうえに、
主のお慰めをお祈りいたします。

谷口ハナエ姉 95歳（博多）
2018年9月9日

ご召天



報告

女性会連盟 役員研修会

2018年11月8日～9日

ナザレ修女会エピファニー館

—連盟、各教区、協力委員が集い、協議と学び、交流—

出席：連盟役員、札幌教会2名、東教区、東海教区、西教区、九州教区、連盟事務局員 協力委員（NCC、いつくしみ小勝奈保子牧師（担当教職）
内容 ■講話「少子高齢時代と女性の尊厳」 小勝牧師
連盟の意義は何か、教会の課題としてはハラスメント窓口や相談室の設置、人権教育や性と命の教育が必要であるなど課題を幅広く示された。
■北海道の2女性会（札幌と函館）の連盟加入の際の所属について話し合う。直接連盟につながりたいとの希望。
<結論>・北海道の2教会は直接連盟と繋がる
・2教会はそれぞれ1正議員を認めるものである。
以上2点を満場一致で確認。規約（第3条2項）の文言改正案を次回総会に提案する。
■もっと社会に目を向けよう（今期の活動方針のひとつ）
るうてるホーム、「共に生きる」、ディアコニアに関する学び、ネパールの医療活動など多く意見が出された。
■会報に「みんなの声ひろば」を設けたので、有効活用して頂きたい。会員の励まし合いになるよう願っている。
■物品販売による震災支援（継続）
布草履、布小物、西條さんグループの海産物を紹介。
■第25回総・大会開催地 これまでの経緯や費用面、ローテーション、熊本地震後の状況など、多くの時間を費やす。各教区が互いの実情を鑑みながら、九州に決定。

アドベントを迎えています。皆さまもクリスマスを心待ちにお過ごしのことでしょう。2018年の恵みに感謝します。良いクリスマスと新年をお迎えください。（R・O）

今号から、各教会活動の紹介も箱崎教会・神水教会を皮切りに始まりました。次号は貴教会かも…。シリーズも順調です。

「みちしるべ」104号をお届けします。

編集後記

